

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	家電量販店（店 長）	販売量の動き	・エコポイント制度に関する駆け込み需要により、特にテレビの販売台数が伸びており、各メーカーの主要商品の入荷が最大で7週間待ちとなっている。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	販売量の動き	・今月は天候に恵まれなかったが、販売量が予想以上に伸びており、全体としては売上が増加傾向となっている。
		一般小売店〔事 務用品〕（経営 者）	お客様の様子	・事務機器や事務用備品に関する商談が増加している。規模は大きくないが、商談件数が増えるなど、様子をうかがいながらも支出を増やす企業が出てきている。
		一般小売店〔衣 服〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が少しずつ増えてきている。
		百貨店（売場主 任）	来客数の動き	・前月は店全体で前年の売上を上回り、今月もほぼ前年並みとなるなど、売上が前年割れとなる状況は脱しつつある。
		百貨店（売場主 任）	来客数の動き	・食料品売場のリニューアルが3月に終わり、前年比で来客数が5～10%増えたため、売上も改善されている。
		百貨店（売場主 任）	お客様の様子	・売上が前年を上回る商材があるなど、少し上向きになっている。ただし、客の買物は依然として慎重であり、決して順調とはいえない。特に、販促方法や商品の特徴に目新しさが無い商材は非常に苦戦している。
		百貨店（売場主 任）	お客様の様子	・来客数、売上共に前年を上回る日が増え、月全体でも前年とほぼ同水準まで回復している。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・富裕顧客では宝飾品、美術品の引き合いが増えていたほか、前年は見送られることの多かった高級婦人服を購入するケースが出てきている。
		百貨店（商品担 当）	お客様の様子	・婦人雑貨関連では売上目標を達成した商材がかなり増えてきた。客単価は低いものの、来客数の増加で売上がほぼ前年並みまで回復している。
		百貨店（マネー ジャー）	販売量の動き	・売上は依然として芳しくないが、前年比の減少幅は5%となるなど、一時の2けた減に比べて緩やかになっている。
		百貨店（売場担 当）	来客数の動き	・雨の日が多く、急に寒くなるなど営業条件は前年よりも悪いが、来客数が微増に転じている。景気はやや良くなっている感があるものの、客の購入姿勢はまだまだ厳しい。衣料品では、なかなか上下セットで購入せず、たんすに入っている服とのコーディネートを考え、単品の買い足しを中心となっている。
		スーパー（企 画）	お客様の様子	・前年に販売額が大きく落ちたため、衣料品などの販売額は今月に入って前年比が下げ止まりつつある。
		家電量販店（経 営者）	お客様の様子	・今年度のエコポイント制度の締切りに伴い、薄型テレビをまとめ買いする客が増えており、売上を押し上げている。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・決算時期で値引き率も高いため、新車販売は当期目標の90%を達成している。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・中旬ごろまでは大きな変化はなかったが、各店舗でのメニュー変更後は来客数の増加傾向が顕著となっている。また、予約客数の伸びも顕著である。
一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・転勤や異動による歓送迎会プランが人気で宴会が増えているほか、既存客が新たな客を連れてくるといった連鎖的な動きにもつながっている。		
一般レストラン （経理担当）	販売量の動き	・客の関心が価格から安心感へとはっきり変わってきている。来客数や客単価、1品単価共にやや上向いているほか、低額商品よりも高額商品の売上が伸びている。中国を中心に海外客も増加し、観光客向けのメニューを設けることで団体予約件数も増えている。		
観光型旅館（経 営者）	単価の動き	・今年は桜の開花が早く、客足が伸びているほか、立寄り客の購買意欲も上向いているため、客単価が伸びている。		

	都市型ホテル (役員)	来客数の動き	・前月の宿泊収入はアジアの旧正月による影響もあり、今年初めて前年を上回ったものの、今月は価格競争の激化で再び前年割れとなっている。また、宴会も企業の利用が1月以降落ち込んでおり、回復の気配がない。一方、レストランは値下げが来客数の増加につながり、売上は前年に届かないものの、少し上向いている。
	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・予約は長らく前年割れが続いていたが、今月の予約受付はほぼ前年並みとなっている。国内旅行はまだ戻っておらず、まだ力強さはないものの、高単価の海外旅行が動いている。
	通信会社(社員)	販売量の動き	・営業拠点の強化やスタッフの増強による効果が出始めており、販売量が前年比で約20%増えている。ただし、客単価は低下しているため、売上の増加にはつながっていない。
	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・停滞していた販売案件に動きが出始めている。
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・観光シーズンが本格化していくなか、来客数が増加傾向にあることで良い動きにつながっている。
	遊園地(経営者)	来客数の動き	・メディアで取り上げられたこともあり、来園者が増えている。必ずしも景気回復によるものではないが、客の動きが少し出てきている。
	競輪場(職員)	単価の動き	・今月の客単価は11,441円と、3か月前の11,328円よりもやや良くなっている。ただし、これは今月の競走のグレードが高かったためであり、楽観視はできない。
	その他レジャー施設[イベントホール](職員)	お客様の様子	・新年度の利用申込みも順調で、新たなイベントが増加している。
	住宅販売会社(経営者)	来客数の動き	・広告への反響が前年よりも確実に増えている。春の異動シーズンを迎えた影響もあるが、低価格帯の住宅に対する問い合わせは増えている。
	住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・新築マンションの販売は苦戦が続いているが、低価格の建売住宅については順調に売れており、新規の事業用地も取り合いとなっている。
	その他住宅[展示場](従業員)	来客数の動き	・住宅展示場への来場数は3月に入って増加傾向にある。前年と比べても増加している。
	その他住宅[情報誌](編集者)	販売量の動き	・分譲マンションの新規着工や販売が増加傾向にある。市場環境は厳しいものの、在庫圧縮が中心であった各社の戦略が、新年度の引き渡し物件の販売に変化し始めている。大手企業を中心に事業用地の取得意欲も強くなっている。
変わらない	商店街(代表者)	それ以外	・前月の中旬から上向き傾向となっていたが、天候不順もあり、今月に入って悪くなっている。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・年明けから2、3月は最悪の状態になると分かっていたため、商店街の理事を説得して2月からイベントを毎週行い、買物をするなら商店街でという雰囲気づくりを進めている。始めて開いたフリーマーケットも大成功で、1日中多くの買物客でにぎわう結果となっている。
	一般小売店[食料品](管理担当)	販売量の動き	・不況により前月は土日のほかに平日が1日休みとなったが、今月は休みが2日に増えている。そのうち1日は部単位での休みとなっている。
	一般小売店[鮮魚](営業担当)	お客様の様子	・店頭では特価商品や定番商品しか売れず、少し値の張る商品は客に見向きもされない。
	一般小売店[衣服](経営者)	お客様の様子	・客の動きをみても購買意欲の高まっている感はないが、以前のような極端な厳しさはない。
	一般小売店[菓子](経営者)	お客様の様子	・オフィス街の店舗の売上が苦戦している。
	一般小売店[野菜](店長)	販売量の動き	・来客数、販売量共に増えていない。
	一般小売店[酒](店員)	来客数の動き	・例年に比べ、客の動きが少ない。
	一般小売店[菓子](営業担当)	販売量の動き	・販売量は横ばいの動きが続いており、明るい兆しが一向にみられない。

百貨店（売場主任）	お客様の様子	・倒産や給与、ボーナスの減額、退職金の廃止、減額など、消費を取り巻く環境が非常に良くない。また、高齢化の進行も悪化に拍車を掛けている。
百貨店（企画担当）	お客様の様子	・近隣に商業施設がオープンして来街者は増えたものの、なかなか売上には結びつかない。
百貨店（店長）	販売量の動き	・今月中旬以降、少し右肩上がりになってきている。
百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・売場の改修工事が始まって1年となり、前年比の数字がようやく実態を示すようになる。全体的には春休みに入ったことで来客数が増えている。
百貨店（外商担当）	単価の動き	・景気回復が報じられ、一部には好調な業種もあるが、大型小売店では消費の伸びはみられない。特に、衣料品関連を中心に販売価格が低下している。
スーパー（店長）	販売量の動き	・婦人、子ども服ではスーツなどの入学、卒業関連が苦戦し、販売点数は前年比で5%減となったが、省エネ家電は好調に推移し、商品単価も前年比で2倍以上となっている。また、食料品は来客数が7%増、販売点数も5%増となり、全体でもここ3か月間は売上が前年を3%ほど上回っている。
スーパー（店長）	お客様の様子	・景気が回復傾向にあるとの報道もあるが、地方の小売業は深刻な状況である。客単価の低下に歯止めが掛からず、特に天候不順で衣料品の売行きが悪い。
スーパー（店長）	お客様の様子	・購入点数は変わらないが、1品単価は下がっているため、全体の購入金額を抑える傾向に変化はない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・3か月前と変わらず、来客数は前年割れの傾向が続いている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・今月は前年よりも寒暖の差が激しいほか、雨の日も多いため、来客数が前年比で94%と非常に厳しくなっている。また、客単価、1品単価共に前年を下回っている。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・プレミアム付き商品券の大きな効果はなく、天候要因もあって売上は低迷している。ただし、買上単価には下げ止まりの傾向がみられる。
スーパー（広報担当）	お客様の様子	・来客数、1品単価をみても最悪の状態から回復しつつあるが、例年は衣替え需要で春物商品に動きが出てくるはずが、天候不順で盛り上がり欠ける。エコポイント制度により液晶テレビの好調は続いているが、全体を押し上げるまでには至らない。
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・以前と同様に購入点数が伸びていない。
スーパー（開発担当）	お客様の様子	・前月に比べて特に売上も伸びておらず、横ばい状態である。
スーパー（社員）	単価の動き	・店頭での単価下落が顕著となったのが前年の春で、ほぼ1年にわたって下落が続き、歯止めが掛からない状況となっている。特に今月は天候の悪い日が続いており、客の来店回数もやや減少している。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・弁当を10%値下げしても販売が落ちている。その一方で、天候不順により体の温まる物を求めて外食する人が増えている。
コンビニ（マネージャー）	お客様の様子	・客は値引き商品、セール商品に反応し、同じような商品であればブランドなどにこだわらない様子である。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・今年に入ってからエコカー減税や新車購入補助金が購買意欲を高める効果が下がっている。補助金を当然のように思っている客もおり、決算月であっても販売台数は前年ほど伸びていない。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・販売量は多少上向いているものの、前年比でみるとまだまだ低水準である。
住関連専門店（店長）	競争相手の様子	・業界で業績好調な企業は中国に拠点のある1、2社しかなく、まさに業界全体が危機的な状況にある。また、入学シーズンにもかかわらず学習机が全く動かず、今までにない厳しさとなっている。
その他専門店【宝石】（経営者）	お客様の様子	・現在の政治とカネの問題に客が敏感に反応しており、来客数が少なく、購買意欲も上がっていない。
その他専門店【医薬品】（経営者）	来客数の動き	・決算に合わせて、商品の大部分を対象にした10%値下げのダイレクトメールを送ったところ、今月は良い効果が出ている。ただし、風邪薬や花粉症向け商品の動きが悪く、前年比で30%落ち込んでいる。

その他専門店 〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・食品の販売量に変化はない。
その他専門店 〔スポーツ用品〕（経理担当）	販売量の動き	・客は来店しても目的買いに終始しており、景気回復を実感できる材料に乏しい。
その他専門店 〔宝飾品〕（販売担当）	競争相手の様子	・在庫が減らず、仕入れても売れる見込みがないため、新たな仕入れができない。
一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・日曜日の来客数、売上は前年比で回復しているものの、平日がそれ以上に悪化している。
一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・来客数は3か月前よりも若干増えてきたが、最近は横ばいとなっている。客単価もほぼ横ばいで推移している。
スナック（経営者）	来客数の動き	・3月は職場の異動で団体客が増えると期待したが、期待外れに終わっている。
その他飲食 〔コーヒーショップ〕（店長）	来客数の動き	・客単価、来客数共に横ばいで推移している。春が近づいても気温の上昇は遅く、購買意欲も感じられない。例年は春先の異動や就職でギフトも多少動くが、今年の実績は芳しくない。
観光型ホテル （経営者）	単価の動き	・団体客の動きは相変わらず悪い一方、個人客はインターネットでの間際予約がかなり増えているが、単価の低いプランに集中している。
観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・客が少し多いのは季節的な要因もあるが、前年よりも増え方が大きい。
観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・客は価格が安ければ動くわけではないが、やはり金額にはシビアになっている。
観光型旅館（団体役員）	来客数の動き	・予約のペースが遅く、間際の駆け込み予約に頼っている状況である。
都市型ホテル （支配人）	販売量の動き	・休日上限1,000円の高速度道路料金の引下げが6月に終了するため、効果の持続には期待できない。3か月前よりも景気が特に上向いている感はない。
都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・春休みにかけて人の動きが少し活発化し、宿泊単価も若干上昇しているが、前年の水準にはまだまだ届かない。一方、宴会関係も歓送迎会や新年度の会議といった動きが戻りつつある。
都市型ホテル （マネージャー）	来客数の動き	・客室部門は稼働率が前年を上回るなど復調の気配もみられるが、レストランの来客数には大きな変化がない。全体的にはビジネス客に少し動きが出始めたものの、個人客にも同様の動きが出てこなければ、上向き傾向とは判断できない。
都市型ホテル （営業担当）	来客数の動き	・今月に入って客室稼働率は前年を上回っているが、価格を下げたため、売上は前年並みとなっている。春休みに入って宿泊の個人客がよく動いている一方、一般宴会と婚礼の件数は減少している。特に宴会は前年比で19%のマイナスと相変わらず厳しい状況となっている。
旅行代理店（店長）	お客様の様子	・客の動きが上向いている感はなく、特に3月に入ってからはその傾向が強まっている。
タクシー運転手	来客数の動き	・転職や卒業のシーズンで客足の上向いている感はあるが、普段と大きくは変わらない。タクシーの利用を必要最小限に抑える傾向が定着している。
タクシー運転手	来客数の動き	・夜の利用が少なくなっており、繁華街も客待ちのタクシーであふれているなど、最近は大きな変化がない。
タクシー運転手 通信会社（経営者）	お客様の様子 お客様の様子	・客の雰囲気はどん底の状態である。 ・客からは値引きの要請が多いほか、代金の回収が遅れている。
通信会社（店長）	お客様の様子	・問い合わせは多いが、購入にはつながらない。
観光名所（所長）	来客数の動き	・入場者数はほぼ前年並みである。
その他サービス 〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	販売量の動き	・レンタル売上や書籍販売は前年比の推移も落ち着いてきたが、CD販売の落ち込み分まではカバーできない状態が続いている。
住宅販売会社 （経営者）	それ以外	・決まりそうな契約がまとまらない。

	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・一部の物件ではモデルルームへの来場者数が上向いているとの声もあるが、成約件数の増加にはつながらず、まだまだ様子見の状況が続いている。
	住宅販売会社 (総務担当)	販売量の動き	・住宅版エコポイント制度の導入による効果は徐々に出てきたが、住宅取得資金の贈与に関する非課税枠拡大の効果はあまりみられない。不動産の動きは全体的に鈍いままである。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕(経営者)	お客様の様子	・不動産の取引件数はあまり変わらない。
やや悪くなっている	一般小売店〔時計〕(経営者)	販売量の動き	・冬に戻ったような天候の日が多かったため、来客数が非常に少なく、販売量も大きく減少している。電池交換や修理といった単価の小さな動きは若干あったものの、客からは商品に興味を持つ雰囲気を感じられない。
	一般小売店〔花〕(店長)	販売量の動き	・来客数は前年より若干増えているものの、客単価が低い。
	一般小売店〔カメラ〕(販売担当)	来客数の動き	・例年3月は卒業旅行に行く学生などの来店が増えるが、今年はそのような雰囲気が全くない。それどころか就職先を探すために会社訪問を続けており、生活にも余裕がなくなってきた。
	百貨店(婦人服担当)	販売量の動き	・需要が高額品と低額品にはっきりと分かれている。全体としては価格の低い商品を希望する客が多い。
	スーパー(企画担当)	販売量の動き	・売上の前年比が、3月前の95%から92%に悪化している。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・近隣のオフィスビルのテナント企業が家賃の安い郊外に移転する動きが続いており、ビルの入居率が更に下がっている。
	コンビニ(店長)	単価の動き	・客の新商品への関心は大きく変わっていない。新商品でも高額な物はあまり動きが良くない一方、割安感のある物はとても好調に動いている。
	コンビニ(店員)	お客様の様子	・今月は雨が多く、工事現場での作業が休みになるため、来客数が減少している。
	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・春物商戦では高額の婦人服が全く売れず、売れるのは特価品だけである。
	衣料品専門店(営業・販売担当)	販売量の動き	・冬物セールのほか、春物商材の立ち上がりも売上が悪化している。
	乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・今年は給与のベースアップが見込めないという客が多い。企業収益が改善しておらず、要求すら難しいとの声が聞かれる。
	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・小売業は最悪の状況であり、良くなる材料がない。
	乗用車販売店(営業担当)	販売量の動き	・新車の購入補助も9月まで延長になり、客は少し時間があると考え始めたため、3月の決算商戦にあまり関心を示さない客もみられる。また、景気全体の回復傾向も少し落ち着いてきている。
	その他専門店〔医薬品〕(店員)	単価の動き	・来客数は徐々に戻りつつあるが、客単価が低下している。
	旅行代理店(広報担当)	お客様の様子	・オリンピック後のバンクーバー向けの旅行需要が全く出てこない。春休みの移動も帰省ぐらいで、客からは旅行へ行こうという気持ちにならないとの声が聞かれる。
	タクシー会社(経営者)	お客様の様子	・節約ムードが徐々に強まっている。特に、タクシーの利用は電車やバスを使えば済むため、急用がない限り控える傾向が顕著となっている。
競輪場(職員)	販売量の動き	・売上、客単価、来客数共に落ち込んでいる。	
その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕(企画担当)	来客数の動き	・天候要因による悪影響が広がり、行楽客の足が鈍くなっている。	
美容室(店長)	来客数の動き	・客からは給料が減っているという声をよく聞く。	
住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・客の住宅購入意欲は安定しているが、売却物件が減っているため、成約率が落ちている。	

	悪く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・天候不順により客の出足が悪く、少し売出しも行ったが反応は全くない。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	競争相手の様子	・同業者による販売量の減少が顕著となっている。
		一般小売店〔精肉〕（管理担当）	単価の動き	・売れ筋商品の価格帯が低くなり、1人当たりの買上単価も低下している。特に、日常の買い回り品についてはその傾向が顕著となっている。
		一般小売店〔菓子〕（経営企画担当）	販売量の動き	・12月と今月の売上前年比を上位5店舗の平均でみると、12月が95.9%で、今月が91.5%となっている。前月までの落ち込みに比べて、今月は更に悪くなっている。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	販売量の動き	・販売量だけではなく1品単価、来客数も悪化するなど、すべてが悪くなっている。
		一般小売店〔花〕（店員）	来客数の動き	・卒業、入学、退職などの贈答品の売上が、例年よりも落ちている。
		衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・買い控えや購入単価の低下がみられる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・景気全体は悪くなっているが、今月の天候不順でタクシー業界は微妙に落ち込みを回避している。
企業 動向 関連	良く なっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年の悪い時に比べて良くなっているだけではなく、一昨年の受注量近くまで回復している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・約2年続いた生産調整の結果、各企業の在庫が減少している。また、得意先ではハードディスクや電子機器の出荷が急に増えており、当社の工場も稼働率が100%に達している。ただし、取引先でも好調業種に関わりのない企業は、依然として不況感が強い。
	やや良く なっている	化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・売上は3か月前との比較で5%増、前年比では35%増となり、前月と同様に堅調な動きとなっている。例年3月下旬は取引先による期末の在庫調整で出荷が大きく落ち込むが、今年は例年ほどではない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・2月以降、住宅市場が徐々に回復しており、今月は受注量が前年並みに戻っている。
変わらない		電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・アナログ放送終了や、エコポイント制度の対象機種が4月から見直しとなる影響で、薄型テレビの荷動きがこれまで以上に活発になっている。それに伴い、ブルーレイディスクレコーダーなどの録画機も堅調に動いている。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折り込み件数が増えている。
		食料品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・販売量は少し伸びているが、当社ブランドの製品が売れずにプライベートブランドが伸びるなど、売れる商品に偏りがある。プライベートブランドは利益率が低いいため、全体で見ればあまり変化がない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	競争相手の様子	・3月に入っても稼働率の上がっていない工場が多く、顧客によってかなりの差がある。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・家電や住宅のほか、設備全般に関する部品製造を行っているが、すべての数字が悪い。年末から年度末の3か月については底の状態であり、横ばいで推移している。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月からの保守関連の見積り依頼や受注が動き出している。全体的にはここ数か月の動きとあまり変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・大企業は中国やアジアへの輸出で上向いているが、中小企業はまだ厳しい状況である。設備増設の動きが出るまでには時間が掛かる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	それ以外	・前年から良い状態が続いているほか、まだ市場に回っていない商品も開発中である。
		その他製造業〔履物〕（団体職員）	受注量や販売量の動き	・受注量が増えず、組合員の倒産がみられる。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注が低調なため、価格競争が相当厳しくなっている。
建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は堅調に推移しているが、収益状況は厳しい。取引先からの値下げ要求も厳しく、要望にこたえるためには原価の削減が必要なため、利益の確保が困難となっている。		

		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・住宅版エコポイント制度に多少期待していたが、実質的なメリットが少ないため、ユーザーからの反応も鈍い。
		輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・コピー機の配送業務は好調であるが、公共工事関連の機材搬入作業は前年よりも減少している。
		金融業（支店長）	取引先の様子	・取引先の建売業者では、住宅版エコポイント制度が新聞に載ったことで、客が一時的に増えている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今年になっても売上は増えていないが、注文件数が少し増えている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・前年来、年度末の広告需要の動きが芳しくない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・得意先の決算に不安を感じている顧客企業が多く、新年度の受注減少を心配する声が多い。
		その他非製造業 〔機械器具卸〕 （経営者）	取引先の様子	・今年に入ってから、受注や見積りは依然として少ない。
やや悪くなっている		食料品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・天候不順や地震、津波といった天災により、土産物店の売上が前年を6%下回っている。
		繊維工業（総務担当）	取引先の様子	・得意先主催の催事に参加しても、売上は前年比で50%に落ち込んでいる。経費が掛かっており、採算が取れなければ値引き交渉にも応じられないため、売上が伸びない。
		繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・一部に国産品への需要や引き合いはあるが、全体としては前年以上に減少している。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末を迎えているほか、鋼材の値上げ前にもかかわらず、受注量や荷動きが前月より悪く、駆け込み需要も一向にみられない。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年は年度末の修理事件が増加するものの、今年は非常に少ない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・最近では回復の兆しもみられたが、今月になって受注量が少し減っている。
		電気機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・価格競争が始まっているほか、消費者の間では耐久消費財の購入が徹底的に抑えられている。
悪くなっている		その他サービス 〔自動車修理〕 （経営者）	受注量や販売量の動き	・来客数が日に日に減ってきている。
		金属製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・注文量が激減しており、様々な業務改善を行っているが、1か月だけで1000万円以上の赤字となっている。
		一般機械器具製造業（設計担当）	受注量や販売量の動き	・中小企業の受注量はまだまだ回復が遅れている。政府の景気対策による恩恵も一部の企業にとどまっており、中小企業にまでは届いていない。
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・当市の賃貸事務所の需要はまだまだ悪く、解約の動きが続いている。また、新たに当市へ出てくる企業もないため、入居率が低下、賃料も下がっているなど厳しい状況である。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・大企業は回復傾向にあると報じられているが、中堅以下の企業には動きがない。
雇用関連	良くなっている		-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・3月中旬以降、新年度に向けた求人がメーカーや商社、物流関係などで出てきている。金額についてはかなりシビアであるが、2、3か月前に比べて市場に動きが出ている。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣先企業からの求人件数は、製造業を中心に微増傾向となっている。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	求職者数の動き	・求人企業数の前年比はマイナスが続いているものの、一時に比べると大きく改善している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人では、製造業が前年比で3.5%のプラスと30か月ぶりに前年を上回っている。有効求人倍率も上昇傾向にある。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・周辺のビジネスホテルの利用が増えており、仕事の増え始めている感がある。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で2けた台のマイナスが続いていたが、14か月ぶりに1けた台のマイナスとなっている。また、製造業の求人も3年1か月ぶりに前年を上回るなど、求人数については底を打った感がある。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・今まで1社当たりの求人は欠員補充で1名という形が多かったが、最近は同じ職種で2名以上の求人を出す会社が増えている。ただし、ITや小売業界の求人数はまだ元に戻る気配がない。
	民間職業紹介機関（支社長）	採用者数の動き	・前年の後半から求人数は前年を上回っているが、前月からは採用者数も前年を上回り始めた。3月も前年を上回れることは確実であり、求人企業の採用意欲が高まってきている。
変わらない	人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・例年2、3月は繁忙感があるが、今年は年度末の盛り上がりが少ない。全体的に動きが鈍く、閑散としている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新聞の求人広告ではドライバーの募集などは堅調に動いているが、営業や事務といった職種は依然として少なく、全体としては厳しい状況が続いている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が少し増加に転じるなかで、派遣や請負の求人も増えてきている。
	民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・人材紹介業務は依然として低迷している。
	民間職業紹介機関（大学担当） 学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子 採用者数の動き	・大手企業は海外からの受注が回復している一方、中堅、中小企業は相変わらず悪いままである。 ・卒業を迎えた学生の就職決定率などの状況は、前年比で7ポイント程度悪化しており、大変厳しい状況となっている。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・年度末で一部の大手企業の広告は動いているが、求人広告に関しては新卒のほか、転職、パート・アルバイトなどで低迷が続いている。ただし、募集人員に対して応募者の殺到する求人が増え始めている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新聞広告は上向き気配が全くない。特に、関西の地場産業の回復が遅れている。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・困窮した日雇労働者が生活保護に回り、労働市場そのものが縮小している。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・来年の卒業生に対する求人企業数は、前年比で23%減となっている。
悪くなっている	-	-	-